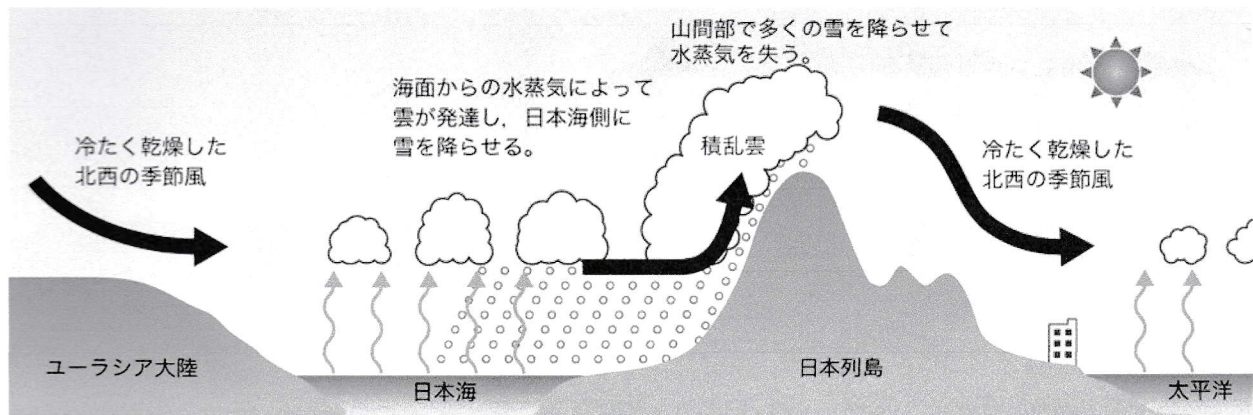


1 日本の天気の特徴【冬の天気】（教科書 P.188-189）を読んで次の空欄に当てはまる語句を答えよう。（復習）

冬の時期には、ユーラシア大陸が（① ），大陸上で（② ）高気圧が成長する。シベリア高気圧の中心付近には、（③ ）大きな空気のかたまりができ、シベリア気団とよばれる。

この時期には、大陸上に（④ ）があるため、大陸から太平洋や東シナ海に向かって、冷たく乾燥した（⑤ ）の風がふく。これが冬の季節風である。また、日本列島の東の海上に（⑥ ）があることが多く、天気図を見ると、日本列島付近では、南北方向の等圧線がせまい間隔で並ぶ。冬の時期に特徴的なこの気圧配置を「（⑦ ）の冬型の気圧配置」という。

日本海側と太平洋側の冬の天気のちがい P.189 図3



冬の時期にふく北西の季節風は、冷たく乾燥している。一方で、日本海の海面は日本海の上を通る空気よりも（⑧ ）ため、図のようにこの空気が日本海の上であたためられると（⑨ ）をふくんで上昇し、筋状の雲ができる。この雲が日本海側に多くの（⑩ ）を降らせる原因となる。北西の季節風は、日本列島にぶつかる強い（⑪ ）となって（⑫ ）を発生させるので、山間部では特に多くの雪が降る。日本海側に雪を降らせることで、山地をこえる空気は（⑬ ）を失う。そのため、太平洋側では、冷たい北西の風がふいて、（⑭ ）晴れの天気が続くことが多い。

2 NHK for School 理科クリップ「冬の天気は？」を見よう。



- ①NHK for School のホームページを開く。
- ②「クリップ」をクリック！
- ③「教科:理科 学年:中・高 キーワード:天気」と検索する。
- ④「冬の天気は？」をクリック!!

答え：①冷やされ②シベリア③冷たく乾燥した④高気圧⑤北西⑥低気圧⑦西高東低⑧あたたかい⑨水蒸気⑩雪⑪上昇気流⑫雲⑬水蒸気⑭乾燥した